

公開実用 昭和61- 75693

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑯ 実用新案出願公開

⑰ 公開実用新案公報 (U)

昭61-75693

⑯ Int. Cl. 4	識別記号	厅内整理番号	⑯ 公開 昭和61年(1986)5月21日
H 04 R 5/027		Z-7734-5D	
1/00	H A B	7314-5D	
	1 0 1	7359-2G	
// G 01 H 3/00		7359-2G	
17/00			審査請求 未請求 (全頁)

⑯ 考案の名称 音響測定用ダミーヘッドマイクロホン装置

⑰ 実 願 昭59-161659

⑰ 出 願 昭59(1984)10月24日

⑯ 考案者 加藤 慎治郎 川越市大字山田字西町25番地1 バイオニア株式会社川越工場内

⑯ 考案者 好 美 敏 和 川越市大字山田字西町25番地1 バイオニア株式会社川越工場内

⑰ 出 願 人 バイオニア株式会社 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

⑯ 代 理 人 弁理士 小橋 信淳 外1名

明細書

1. 考案の名称 音響測定用ダミー ヘッドマイクロホン装置

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) ダミー ヘッド中にマイクロホンカプセルを装備した音響測定用ダミー ヘッドマイクロホン装置において、ヘッドバンドで連結された左右のイヤーパッドと、このイヤーパッド中に収容された吸湿剤とを備え、ダミー ヘッド中のマイクロホンカプセルを湿気から保護した構成にしたことを特徴とする音響測定用ダミー ヘッドマイクロホン装置。

3. 考案の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この考案は音響測定用ダミー ヘッドマイクロホン装置に関し、さらに詳しくは、スピーカなどの音響機器の周波数特性などを測定する音響測定用ダミー ヘッドマイクロホン装置に関する。

【従来の技術】

従来知られている代表的ダミー ヘッドマイクロホン装置は、人体模型における頭部中にマイクロ

公開実用 昭和61- 75693

ホンカブセルを収容し、耳道から導き入れられる音を擬似耳としてのマイクロホンカブセルが感じ、これを音響的に測定できる構成になっている。

【解決しようとする問題点】

上述のようなダミーヘッドマイクロホン装置では、マイクロホンカブセルの振動板が湿気の影響を受け易く、測定結果が湿度により著しく変化して、平均値的な測定結果を得ることができない。

そこで、ダミーヘッドマイクロホン装置全体を防湿容器中に格納することが理想的ではあるが、容器が大形となり、かつ、大量の吸湿剤が必要となるので、ダミーヘッドマイクロホンを構成するマイクロホンカブセル1だけを取出して、吸湿剤2を収容した容器3に格納して振動板を湿気から保護しているのが現実である（第4図）。

【問題点を解決するための手段】

上述のような問題点を解決するために、この考案はヘッドバンドで連結される左右のイヤーパッド中に吸湿剤を収容してダミーヘッド中のマイクロホンカブセルが湿気の影響を受けないように構

成したことを特徴とするものである。

【実施例】

以下、この考案の構成を添付した第1図ないし、第3図に示す実施例によって説明する。先ず、第1図はこの考案による音響測定用ダミーヘッドマイクロホン装置10を示し、符号11は人体を模倣したダミーヘッドを示していて、このダミーヘッド11の左右両側にダミーカバ12、12が形成されている。このダミーカバ12、12はダミーヘッド11の内部空間と通じてあり、その内部空間中にはマイクロホンカプセル13が収容され、カプラー14を介して外部と通じてダミーとしての聽覚が形成されている。

そして、前記ダミーカバ12、12には、ヘッドホン型のイヤーパッド20が被せられており、左右のイヤーパッド20は縮径方向に常時作用しているヘッドバンド21によって連結されている。

このイヤーパッド20は硬質プラスチックス製のシェル22と、そのシェル22の開口縁に沿って施されている柔らかなクッション23とによって構成さ

公開実用 昭和61- 75693

れており、シェル22の内部はメッシュ材24に分割されて、メッシュ材24とシェル22との空間には吸湿剤のパック25が収容された構成になっている。

また、ヘッドパッド20は、必ずしもクッション23を必要とせず、シェル22全体を軟質のプラスチックで成形し、その開放端縁の形成を第3図に示すようにリム22aをつけることでもよい。

したがって、この考案の音響測定用ダミーヘッドマイクロホン装置は、測定作業に使用する場合には、イヤーパッド20を取除いてダミーイヤ12, 12を解放するのであるが、このダミーヘッドマイクロホン装置を格納する場合には、ダミーイヤ12, 12にイヤーパッド20を被せ、頭部空間をイヤーパッド20により閉塞状態にする。これにより、頭部空間中の湿気はイヤーパッド20中に収容されている吸湿剤により除去され、マイクロホンカプセル湿気から保護される。

【考案の効果】

以上の説明から明らかなように、この考案の音響測定用ダミーヘッドマイクロホン装置は、イヤ

イヤーパッド中に吸湿剤を収容し、このイヤーパッドでダミー聽覚であるダミー・ヘッド内部空間の開放口を被うように構成したから、ダミー・ヘッドの内部空間に収容されたマイクロホンカプセルを湿氣から護ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案による音響測定用ダミー・ヘッドマイクロホン装置の正面図、第2図は第1図Ⅱ部拡大断面図、第3図は他の実施例による第2図相当断面図、第4図は従来行われている湿氣対策を示す説明断面図である。

10…ダミー・ヘッドマイクロホン装置

11…ダミー・ヘッド、12…ダミー・イヤ

13…マイクロホンカプセル、14…カブラ

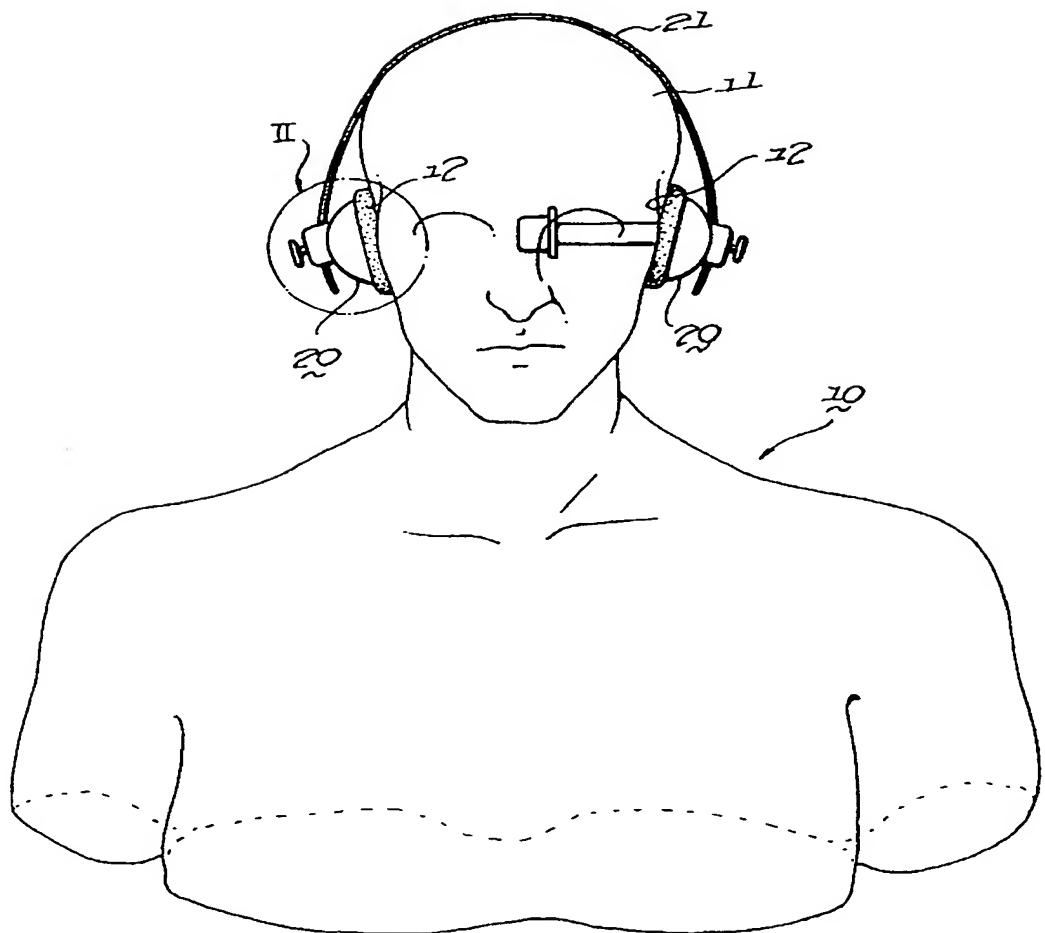
20…イヤーパッド、21…ヘッドバンド

22…シェル、23…クッション

24…メッシュ、25…吸湿材のパック。

公開実用 昭和61- 75693

第1回

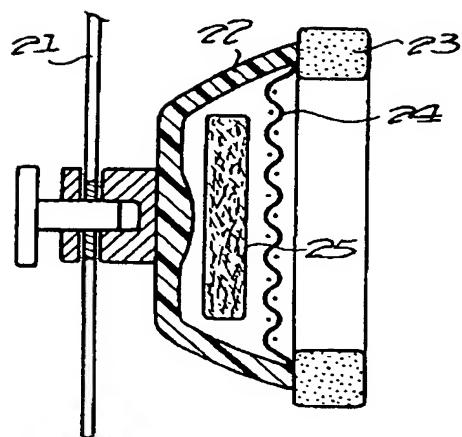


1016

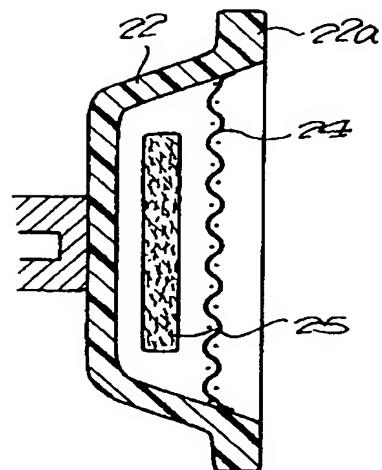
実用61-75693

代理人弁理士小橋信淳ほか1名

→ 20



23 14



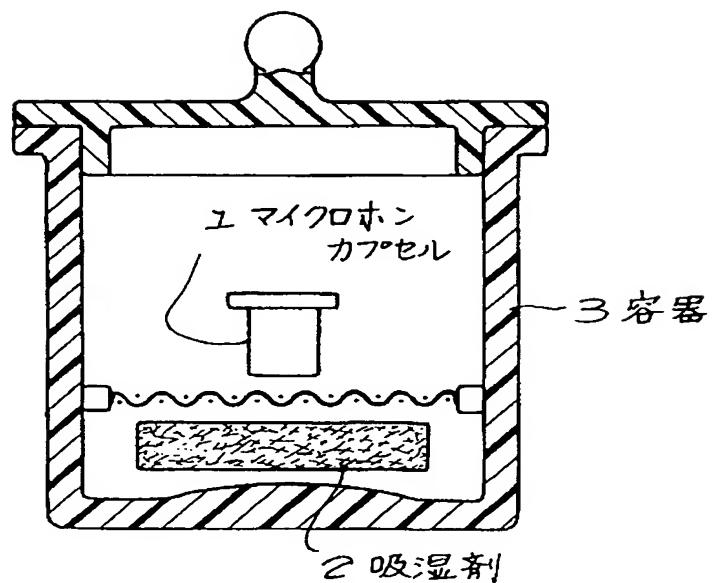
1017

実標61-75693

卷之三 亂世小生 亂世小生

公開実用 昭和61- 75693

オーディオ



1018

実開61-75693

出願日 1986年1月25日 発明の種類